

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28 - 108	高等学校	国語	現代文B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
143 筑摩	現B 338	現代文B 改訂版		

1. 編修の基本方針

◎教育基本法第2条の1～5号に示された教育の目標を達成するために必要な教材を精選して掲載しました。さらに、掲載された教材が上記の教育の目標を達成するのに効果的な学習ができるよう「学習の手引き」などを付して配慮しました。

2. 対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	近代の我が国のすぐれた文章から、文章の基本的諸形態にわたるよう配慮しながら精選して掲載し、各教材末に掲載した「学習の手引き」で学習の指針を示すことによって幅広い教養と真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培えるよう意を用いました。	全ページ
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	左記に示された教育の目標を達成するのに有効と思われる教材を精選して掲載し、「学習の手引き」で指針を示すとともに、表現でもそれらが実践できるような課題を掲載しました。	P.8～11 P.34～71 P.101～110 P.120～138 P.146～151 P.294～299 P.370～402 P.430～451
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	左記に示された教育の目標を達成するのに有効と思われる教材を精選して掲載し、「学習の手引き」で指針を示すとともに、表現でもそれらが実践できるような課題を掲載しました。	P.8～11 P.56～62 P.86～92 P.130～138 P.146～151 P.152～180 P.208～214 P.216～255 P.370～402 P.404～412 P.400～405 P.460～471
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	左記に示された教育の目標を達成するのに有効と思われる教材を精選して掲載し、「学習の手引き」で指針を示すとともに、表現でもそれらが実践できるような課題を掲載しました。	P.26～33 P.63～71 P.249～258 P.353～360 P.182～207

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	左記に示された教育の目標を達成するのに有効と思われる教材を精選して掲載し、「学習の手引き」で指針を示すとともに、表現でもそれらが実践できるような課題を掲載しました。	P.12～25 P.48～55 P.72～85 P.120～129 P.182～207 P.242～248 P.259～267 P.294～299 P.314～329 P.340～343 P.360～369 P.440～451

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

◎義務教育の成果を発展拡充させて、高等学校の国語科の選択科目として期待される一般的な教養を高めることができるよう教材の選定などに意を用いました。さらに、それぞれの発達段階での適時性に配慮して教材を選定しました。また、言語教育としての国語科の立場を明確にししながら、充実した学習が可能になるよう意を用いました。

- (備考)
- 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定合格後に提出する際に記入する。
 - 2 「編修の基本方針」欄には、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために編修の基本方針とした点を記入する。
 - 3 「対照表」欄には、図書の構成・内容と教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について記入する。詳細は次のとおりとする。
 - ① 「特に意を用いた点や特色」欄には、教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、図書の構成や内容において編修上特に意を用いた点や特色について記入する。その際、教育基本法第2条各号のうち、特に関連が深いものを文末に示す。(例：第○号)
 - ② 「該当箇所」欄には、上記内容に対応する具体的な箇所が分かるように、主な該当箇所のページ(例：○ページ)を記入する。
 - ③ 必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
 - 4 「上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色」欄には、上記の記載事項以外に、教育基本法第5条に示す義務教育の目的や学校教育法第21条に示す義務教育の目標、学校教育法第51条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、編修上特に意を用いた点や特色などがあれば記入する。
 - 5 「編修の基本方針」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
 - 6 別紙様式第4-1号の分量は5ページ以内とする。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時間数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28 - 108	高等学校	国語	現代文B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
143 筑摩	現B 338	現代文B 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ①**教材のねらいと取材の範囲** 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる教材を精選しました。取材の範囲は、「現代文B」の学習目標に適切であると思われ、かつ内容・表現ともに基礎的なものから発展的なものまで、学習者の国語を理解する力を涵養する近代以降の文章を厳選しました。
- ②**二部構成の編集** 学習者の発達の段階を考慮して全体の構成を二部に分け、それぞれ十二単元・十単元とし、各々の教材の内容と配置によって各分野の有機的な関連付けを図りました。
- ③**ジャンル別の単元構成** 単元構成については、「評論」「小説」「詩歌」「随想」「実用の文章」とし、年間を通して現代文の学習の流れが円滑に進められるよう、単元の組織に意を用いました。各単元の中では、時代や傾向を異にする教材を複数配置することで、全体に多様で重層的なふくらみが生まれるよう意を用いました。
- ④**思考力を深める教材を精選** 教材の選定に当たっては、文体・内容とも多種多様なものを取り上げて、日本語の豊かな言語文化に触れることができるように工夫しました。論理的な文章と文学的な文章、その他様々な文章をかたよりなく組み合わせ構成し、目的や内容に応じた読み方を通して文章を読解・鑑賞・表現する能力を高めることができるよう意を用いました。論理的な文章においては、論理的・科学的な見方や考え方を養うのに役立つような教材を選び、論理の展開や要旨を的確に捉えることができるよう、設問等を工夫しました。文学的な文章においては、主題・構成・叙述などを確かめつつ、人物・情景・心情などを的確に捉え、表現を味わうことができるよう意を用いました。その他、実用的な文章・翻訳の文章・文語的な文章・詩歌など様々な文章を取り上げ、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができるようにしました。
- ⑤**手引き・コラム** 各教材への理解を深め、学習活動を充実させるための手引きを教材末に示しました。また、教材毎に「読解の窓」「キーワード」を示しました。

2. 対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容				
単元	教材名	作者	ア	イ	ウ	エ	オ
第一部							
はじめに	手づくりの定義へのすすめ	鶴見俊輔	○		○		○
評論一	「生」の音楽という幻想 [キーワード] メディアと身体	渡辺 裕	○		○	○	○
	地図の想像力 [キーワード] 近代と西洋中心主義	若林幹夫	○		○	○	○
	資源はなぜ枯渇するのか [キーワード] 環境問題・経済発展	細田衛士	○		○		○
小説一	山月記 [読解の窓] 小説の中の会話	中島 敦		○	○	○	○
評論二	見えないものを見る [キーワード] 境界とアジール	鷺田清一	○		○	○	○
	ことばがつくる女と男 [キーワード] 本質主義・構築主義・ジェンダー	中村桃子	○		○	○	○
	ゴリラから学ぶ [キーワード] 文化と文明	山極壽一	○		○	○	○
詩歌	小諸なる古城のほitori	島崎藤村		○	○	○	○
	邪宗門秘曲	北原白秋		○	○	○	○
	小景異情	室生犀星		○	○	○	○
	永訣の朝	宮澤賢治		○	○	○	○
	短歌 [読解の窓] 定型という魅力	正岡子規 ほか		○	○		○
評論三	風評というリスク [キーワード] リスク社会とセキュリティ	美馬達哉	○		○		○
	記号論と生のリアリティ [キーワード] 認識・言語・分節化	立川健二	○		○	○	○
	ラムネ氏のこと [キーワード] リテラシーとレトリック	坂口安吾	○		○		○
	フォーカス① 引用・盗用・著作権				○		
小説二	鞆 [読解の窓] 小説と現実	安部公房		○	○		○
	濃紺 [読解の窓] 小説の中の時間	幸田 文		○	○		○
評論四	変貌する聖女 [キーワード] フェミニズムの思想	川島慶子	○		○	○	○
	広告の形而上学 [キーワード] 消費社会と広告	岩井克人	○		○	○	○
	ぼくらの民主主義なんだぜ [キーワード] 自由と公共性	高橋源一郎	○		○	○	○
小説三	こころ [読解の窓] テキストの細部 フォーカス② 夏目漱石と「こころ」	夏目漱石		○	○		○
記録	のんのんばあと妖怪たち [読解の窓] 伝承と語り	水木しげる		○	○	○	○
	清光館哀史 [読解の窓] 柳田國男と民俗学	柳田國男	○	○	○		○

図書の構成・内容			学習指導要領の内容				
単元	教材名	作者	ア	イ	ウ	エ	オ
評論五	メディアと倫理 [キーワード] メディアリテラシー	和田伸一郎	○		○	○	○
	フォーカス③ 小論文の書き方 「である」と「する」こと						
	[キーワード] 法と制度、保守と革新 [参考] 現代日本の開化	丸山眞男	○		○		○
		夏目漱石	○	○	○		○
実用の文章	手紙	萩原朔太郎・岡本かの子		○	○		○
	報告	小関智弘	○		○		○
第二部							
評論一	ピジンという生き方 [キーワード] クレオールと多文化主義	管 啓次郎	○		○	○	○
	建築論ノート [キーワード] 都市と地域	松山 巖	○		○	○	○
	摸倣と「なぞり」 [キーワード] 身体と他者	尼ヶ崎 彬	○		○		○
小説一	捨てない女 [読解の窓] 小説の創造力	多和田葉子		○			○
	トカトントン [読解の窓] 戦争と文学	太宰 治		○			○
随想	鈴虫の間、ぼくの六畳間 [読解の窓] 海外から見た日本	アーサー・ビナード		○	○		○
	歩く人 [読解の窓] 群衆の中の孤独	長田 弘	○	○			○
評論二	絵画は紙幣に憧れる [キーワード] 貨幣	榎木野衣	○		○		○
	物語と歴史のあいだ [キーワード] 物語言説・物語内容・物語行為	野家啓一	○		○		○
	骨とまぼろし [キーワード] コミュニティ・共同体	真木悠介	○		○		○
	フォーカス④ 異文化への誘い				○		
詩歌	祝婚歌	吉野 弘		○	○		
	旅情	石垣りん		○	○		○
	ブリキの宇宙ロケット	辻 征夫		○	○		
	俳句 [読解の窓] 小説家と俳句	正岡子規 ほか		○			○
評論三	「美味しさ」について [キーワード] アウラと複製技術	雑賀恵子	○		○	○	○
	技術の正体 [キーワード] 科学技術	木田 元	○		○	○	
	陰翳礼讃 [キーワード] 日本文化論	谷崎潤一郎	○			○	○
小説二	舞姫 [読解の窓] 「舞姫」と日本の近代	森 鷗外		○			○
	フォーカス⑤ 近代文学と言文一致				○		

図書の構成・内容			学習指導要領の内容				
単元	教材名	作者	ア	イ	ウ	エ	オ
評論四	権力とは何か [キーワード] ナショナリズムと排外主義	杉田 敦	○		○	○	
	記憶の満天 [キーワード] パースペクティブ・観測者	西谷 修	○		○		○
	隠れん坊の精神史 [キーワード] 遊戯・子ども	藤田省三	○		○		○
小説三	ベルエポック [読解の窓] 小説中の人間関係	絲山秋子		○			○
	藤野先生 [読解の窓] 近代日本とアジア	魯迅 竹内 好 訳		○			○
評論五	誰にも隠されていないが、誰の目にも触れない [キーワード] 記憶とノスタルジー	岸 政彦	○		○	○	○
	ある〈共生〉の経験から [キーワード] 想像する力	石原吉郎	○		○		○
	フォーカス⑥ 文化は表現する				○		
付録	近現代文学史				○		

- (備考) 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定合格後に提出する際に記入する。
2 「編修上特に意を用いた点や特色」欄には、学習指導要領の総則に示す教育の方針や当該教科の目標を達成するため、編修上特に意を用いた点や特色を記入する。
3 「対照表」欄には、図書の構成・内容と学習指導要領に示す「内容」の各事項との対照について、「内容の取扱い」も踏まえて記入する。その際、「該当箇所」欄に、申請図書の該当箇所のページ(例：○～○ページ)を記入する。また、必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
4 「配当時数」欄には、申請図書で予定している配当授業時数を示すこと。なお、配当授業時数の記載が必要ない教科、種目については空欄でよい。
5 「編修上特に意を用いた点や特色」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
6 別紙様式第4-2の分量は5ページ以内とする。